

出資法人等評価・カルテシート（平成 29 年度分）

1 出資法人等の概要

団体名	公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団		
所在地	豊中市服部西町 5-1-1	所管部局・課	都市活力部 スポーツ振興課
設立年月日	昭和 62 年 6 月 4 日	代表者	理事長 桑村 三十三
基本金・資本金	基本財産 100,000,000 円	うち市出資額（率）	100,000,000 円（100.0%）
設立目的	豊中市及び豊中市教育委員会との緊密な連携のもとに、体育施設の効果的・効率的な活用を促進するとともに、各種市民団体との協働を基本とした生涯スポーツを推進することにより、市民が広くスポーツに親しみ、豊かな人間性の涵養と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現に資することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		H27			H28			H29		
		市派遣	市OB		市派遣	市OB		市派遣	市OB	
役員	常勤	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	非常勤	7	0	3	6	0	2	6	0	2
職員	常勤	16	0	3	14	0	1	15	0	1
	非常勤	138	0	1	173	0	2	182	0	2
役員の平均年間報酬（H28年度、千円）※常勤のみ		0			職員の平均年間給与（H28年度、千円）・平均年齢※常勤のみ			4,938千円・42.2歳		

3 財務関係

		金額（千円）		
		H26	H27	H28
損益計算書	総収入	714,778	750,171	752,145
	（うち市受入金）	588,228	618,816	556,036
	総費用	717,984	717,467	712,778
	経常損益	▲3,206	32,704	39,367
	当期損益	▲3,206	32,704	39,367

		金額（千円）		
		H26	H27	H28
貸借対照表	資産の部合計	261,418	314,424	328,050
	負債の部合計	119,852	140,154	114,413
	（うち有利子負債）	—	—	—
	純資産	141,566	174,270	213,637
	利益剰余金	141,566	174,270	213,637

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H26	H27	H28	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	5,150	5,100	5,000	事業運営費補助金
	事業費	—	—	—	
	運営費	5,150	5,100	5,000	補助金事業
	委託料	4,437	10,666	2,036	健康福祉部、こども未来部、都市活力度
	指定管理委託料	578,641	603,050	549,000	指定管理委託料
	その他	0	0	0	
計		588,228	618,816	556,036	
ストック	貸付金残高	—	—	—	
	債務保証残高	—	—	—	
	損失補償残高	—	—	—	
	出資金	100,000	100,000	100,000	昭和62年度出資
	その他	—	—	—	
計		688,228	718,816	656,036	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H26	H27	H28
各種スポーツ教室（体育館・武道館：指定管理者として実施）	幼児から高齢者まで多くの市民が身近にスポーツに出会い、生涯にわたったスポーツに親しむ機会となるよう各種スポーツ教室を実施。	延べ参加者数	134,753	141,000	144,353
各種スポーツ教室（温水プール：指定管理者として実施）		延べ参加者数	86,638	90,221	96,663
体育の日の事業	広く市民にスポーツの普及、振興を図るため、体育の日に体カテストやさまざまなスポーツイベントを開催。	延べ参加者数	0 (台風のため中止)	4,755	6,487
総合型地域スポーツクラブの支援	生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくりのために、身近な地域にある総合型地域スポーツクラブと連携してスポーツ振興のための事業を実施	連携事業の実施回数	1	2	12
外国人向けスポーツ教室の開催（サムライプロジェクト）	武道等多種目の教室を開催します。また、案内パンフレット等の多言語化表示に努めます。	実施回数	4	6	4

(2) 財務指標

指標	視点	内容	H26	H27	H28
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	82.3%	82.5%	73.9%
人件費比率（％） 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	26.7%	23.3%	23.4%
管理費比率（％） 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	1.3%	1.3%	2.3%
正味財産比率（％） 正味財産合計／（負債＋正味財産合計）×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	58.4%	55.4%	65.1%
固定比率（％） 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	96.0%	97.0%	90.9%
流動比率（％） 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	145.9%	123.6%	144.4%

(3) その他

ア 給与体系

区分	■独自体系 □市の体系を準用 □その他（ ）
見直し予定	■予定あり（平成30年度予定） □なし □済み（●年●月）

イ 情報公開

公開ツール	■ホームページ（URL：http://www.spotoyo.com） □広報紙 □事務所備え付け □その他（ ）
公開内容	■定款 ■役員名簿 ■事業計画 ■事業報告 □経営計画 ■財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考
・豊中市立豊島体育館ほか9施設	平成28年4月から平成33年3月	共同事業体として受託
・豊中市立豊島公園野球場ほか10施設	平成28年4月から平成33年3月	共同事業体として受託

6 経営上の課題

<p>①公益財団法人としての財務3基準を満たしながら、安定した財団運営ができる基盤づくり。</p> <p>②自主財源比率の拡大⇒受託事業や指定管理事業以外の事業拡大。</p> <p>③コンプライアンスの向上⇒財団組織における透明性・適正性を確保し、各種制度を安定して運用する。また、合わせて規則等の見直しを行う。</p> <p>④財団ビジョン・アクションプランの実現⇒豊中市が求める財団の役割を果たすため、財団ビジョンに基づいた、アクションプラン（具体的な取組み）を進める。</p> <p>⑤人材育成⇒人材育成プランに基づいた研修を充実させる。</p>
--

7 経営改革の取り組み（平成28年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
運営方針の明確化	豊中市の施政方針を受けて、年度当初に理事長から今年度の運営方針を示し、その方針に基づき持続可能な財団運営を行った。	現在の取組みを継続する。
年度目標の設定	各課・各施設・各プロジェクトチームで年間のスケジュールと事業の目標設定を行った。これを基に、事業・予算の進行管理を進めるとともに、職員間の目標・意識の統一をめざした。	事業・予算の進行管理を適正に継続する。
事業の拡大	施設利用者の利便性を高める物品販売を行っている。	自主財源の拡大につなげるため、スポーツの専門家としてのノウハウを活かし、受講料収入、受託事業の拡大を進める。
プロジェクトチームの設置	・5ヵ年計画推進プロジェクトチーム 財団ビジョン・アクションプランの着実な遂行に向けて、プロジェクトチームを設置し、進捗状況の管理を行った。 ・体力診断データ収集プロジェクトチーム 体力診断システムを活用した事業展開の充実や体力診断結果データを収集蓄積し、統計学的に分析するための手段について検討を行った。	今後も所属の垣根を越えて横断的な議論が望まれる事項が出てきた際は、適宜プロジェクトチームを設置して課題の解決に取組む。
財団ビジョン・アクションプランの遂行	財団ビジョン（持続可能な財団運営）の実現に向け、豊中市・豊中市教育委員会及び各種団体と連携し、アクションプランに基づき各種事業を実施した。また、プロジェクトチームで進捗状況の管理等を行った。	再構築したスケジュールに基づき、着実な遂行に努める。

人事評価の実施	全職員が年度当初に職務目標の設定を行い、その目標達成に向けて業務に取り組んだ。また、評価者に対して、共通理解を深める研修を実施した。	安定した評価制度運用に向け取り組みを進める。
人材育成プランの遂行	研修制度に則り取り組んでいる。	職員への周知徹底と研修制度及び新たな資格制度の充実を進める。

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか	平成28年度も、財団ビジョン&アクションプランに基づき各種事業を実施した。財団ビジョン&アクションプランは、豊中市のスポーツ推進ビジョンの中で位置付けられた、財団の役割、使命を果たしていくための、取り組み方針、具体的な取組みを明確にしたものであり、豊中市のスポーツ推進に寄与する事業を実施することができた。	平成28年度は、それらを着実に遂行することを目的としたプロジェクトチームも立ち上げた。 今後も、①効果的なプログラムによるスポーツライフの応援 ②より魅力的なスポーツ施設の運営 ③スポーツの可能性を拓ける機会の提供 ④スポーツ専門集団として愛され、信頼される機能強化 ⑤持続可能な財団運営の5つの柱で、アクションプランに記載する各種事業を着実に遂行できるよう努めていきたい。
効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か	前年に引き続いて、人的資源を有効活用するために、人事給与制度と研修制度の2本柱からなる人材育成プランに基づく取組みを行った。 また、職員の資質の向上を図るとともに事業をより円滑に進めるには、財団運営に必要とされる資格保有者の拡大が必要であることから、資格取得の支援制度の策定を行った。	豊中市のスポーツ振興へ寄与するためには、財団の財源の確保・有効活用は必要である。平成28年度中に行った電力及びガス契約の見直しなど、引き続き経費削減に取り組んでいきたい。
有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか	事業ごとに目標を明確に定め、その成果や効果を評価している。 従来から財団のマスコットである「とよピヨ」を活用して、地域との交流や社会的貢献につながる事業を実施してきたが、各種イベントの開催等を通じ、市内のスポーツ推進団体との関係を深めることができ、財団の取り組みを多くの市民に周知することができた。 例えば、社会福祉協議会との連携などにより、市民の健康づくり事業の実施につなげることができたように、多くの団体とのネットワークを拡げることができたことにより、持続可能な財団運営に結び付けることができたと評価をしている。	施設利用者の拡大を図る事業展開を進めると同時に、市民や市内各種団体との連携・協力関係を構築していくことによって、公益性の高いスポーツ推進事業を展開していきたい。
総合評価	財団ビジョン&アクションプランに基づく3年目でした。公益性の高い各種事業を実施し、豊中市のスポーツ振興に寄与することができたと考える。 また、新規の職員採用を行うことで、事業の充実・組織力の高揚に向けた取組みができた。	豊中市スポーツ推進ビジョンに基づいた財団ビジョン・アクションプランの遂行が豊中市の出資法人として求められることだと認識し、今後とも、人材育成プランに基づいた職員研修の充実などによる組織力の強化と、安定した事業運営のための収益事業の拡大に、引き続き取り組んでいきたい。

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資目的は薄れていないか ・市の施策の方向性に適合しているか 	<p>当団体は、本市とともに、市民の生涯スポーツを推進し、市民の健康と福祉に寄与することを目的として、本市が全額出資して設立した団体であり、平成 22 年 4 月に公益財団法人に移行されています。</p> <p>また、平成 26 年 3 月に豊中市スポーツ推進ビジョン（平成 25 年 3 月策定）の基本方針を踏まえ、豊中市スポーツ振興事業団におけるビジョン・アクションプランを策定されており、本市のスポーツ推進施策に沿った事業が展開されています。</p>	<p>今後とも、豊中市スポーツ推進ビジョンの方向性をしっかりと押さえていただき、豊中市スポーツ推進計画に掲げている各事業の目標（値）に向け、着実に事業を進める必要があります。</p> <p>また、本市や関係機関、各社会体育団体等と連携を密にしながら、本市のスポーツ施策の方向性に沿って、様々な事業を展開していく必要があります。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資法人等を活用するメリットはあるか ・出資法人等にしかできないことか 	<p>当団体は、本市のより一層のスポーツ施策の推進に向け、即応性、弾力性を生かした市民サービスの向上と、効率的な施設の管理運営及び積極的な事業拡大を図るため、本市が設立したスポーツ関連専門の団体であることから、行政主導で事業を実施するよりも効果が期待できます。</p> <p>また、設立当初からのスポーツ施設の管理運営やスポーツ教室など、これまで培ってきた経験やノウハウが蓄積されており、スポーツ施策の推進に重要な役割を担っています。</p> <p>さらに、公益財団法人であるため、団体の利益は公益目的事業に充てる財源として、スポーツ推進に最大限に活用されるものと考えます。</p>	<p>当団体の存在意義を意識しながら、設置目的に沿って、スポーツ関連専門の団体として積み重ねてきた強みと公益財団法人としての強みを生かし、引き続き、効率的かつ効果的な事業運営を行う必要があります。</p> <p>また、団体のさらなる発展に向け、社会情勢の変化や市民ニーズに対応できるよう、スポーツ分野の情報収集や調査研究などを行い、本市のスポーツ施策に対して、意見や助言などを行うなど、本市とともに取り組みを進める必要があります。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・市の関与は適切か 	<p>当団体は、豊中市スポーツ推進計画（平成 26 年 3 月策定）に掲げている施策の推進に向けた具体的な取り組みにおいて、さまざまな事業の主体として担われており、各事業の目標（値）に対して順調に進んでいます。</p> <p>また、他の事業者との共同事業体として、本市の屋内屋外の体育施設指定管理者として、施設の管理運営や各種スポーツ教室の実施の受託をはじめ、本市の様々な部局から運動やスポーツに関連する事業を受託されています。</p> <p>さらに、関係機関や各社会体育団体等と連携した事業も展開されていることから、本市のスポーツ関連施策の推進に寄与されているものと考えます。</p>	<p>当団体への財政的な関与としては、団体の業務の大半が本市からの体育施設指定管理の受託であるため、公募により、指定管理者としての指定が外れた場合、団体として如何に存続していくかが課題であります。</p> <p>また、人的な関与としては、市職員の派遣や役員就任による団体の組織運営に対して関与しなくなったことで、団体の主体的な事業実施が図られるようになり、また、公募による指定管理者の指定に対して、一定の透明性が確保できていますが、本市の出資法人に対して、本市が如何に関与していくかが課題であります。</p>
<p>総合評価</p>	<p>当団体の設立趣意である基本理念のもと、豊中市スポーツ推進ビジョンの方針を踏まえて策定されたビジョン・アクションプランに沿って、さまざまな事業を着実に実施され、豊中市スポーツ推進計画の中で掲げている各事業の目標（値）に向け、順調に進んでいます。</p> <p>また、市民ニーズに対応していくため、新たな事業を展開しつつ、関係機関や各社会体育団体等との連携した事業も実施されていますことから、本市のスポーツ施策の推進に貢献されているものと考えます。</p>	<p>設立当初からのスポーツ施設の管理運営やスポーツ教室、また、関係機関や各社会体育団体等と連携した取り組みなど、これまで培ってきた経験やノウハウにより、本市のスポーツ施策の推進に対して、引き続き、効率的かつ効果的な事業運営に期待しています。</p> <p>一方で、団体の組織運営などの総務機能に関して、以前は市職員の派遣や役員就任などの人的な関与により、一定の補完をしてきたことから、団体の総務機能の強化に向けた取り組みが必要です。</p>